



陽気だより

No.73

2013.4.15

●ホームページからも「陽気だより」
最新号・バックナンバーをご覧いただけます

<http://yotokusha.com/>

図書出版 養徳社 〒632-0016 天理市川原城町 388 TEL 0743 (62) 4503 / FAX 0743 (63) 8077

養徳社

検索

第8号 (昭和25年1号) から

「陽気」は、昭和24年4月の創刊、今年で64年を迎えます。過去の記事から、その歩みの一端を振り返っていきます。

〔インタビュー〕

母国の山河に想う

アメリカより帰りにて

アメリカ伝道庁長 吉田 進

吉田 日本の自然美は実にすばらしいですね。ハワイも風光明媚で、太平洋の楽園と呼ばれていますが、日本の自然美には追いつかない。汽車の窓から見えるあの箱庭式の景色ですね。山あり林あり川あり、そして人家が点在する風景は日本だけのものですよ。

記者 でも、汽車はひどいでしょう。

吉田 思ったほどでないです。

記者 そうすると、日本の現状を、よほど悪く想像していたわけですね。

吉田 正直に言って、そうですね。しかし私たちは日本に関するニュースを知らなかったというわけではないのですよ。日本から雑誌も新聞も来ますし、ロサンゼルスには邦字の日刊新聞もありますし、一通りの事情は承知しているのですが、「こんなに良くなっている……」と、報道されても、

吉田 直ぐに承服できないのですね。ですから上陸第一歩の印象は「よかった、よかった。たしかに母国は良くなっている」と思い、同胞が再建に尽くした苦勞を十分に感じとれたんです。

記者 しかし、失望したこともあつたのでは。

吉田 人々の目がけわしいです。少し向こうのことをお聞きしたいのですが。

吉田 在米同胞は、ハワイに十

くつていますが、ただ集まっただけではなしに、一つの社会を構えているとも申せます。

も簡単にやれるのですが、こんなことでさえアメリカの社会生活の高さをはつきり知りました。

日本の本屋さんも四、五軒あつて、そこでは小説や、お茶、お花、碁、将棋といった趣味生活に関する書物がよく売られています。そして日本字の新聞は日刊が二種類、週三回発行のものが一つあつて、それぞれ相当の読者をもっているようです。それから、食料品店がたくさんありますね。その店では近ごろ日本品がとて豊富になっているようです。海苔でも味噌でも醤油でも、椎茸、高野豆腐の類に至るまで、殆ど揃つてますよ。

記者 この間、古橋選手たちの時は大変だったでしょう。ニュース映画で見ると、選手たちが飛行機から降りると、二世のお嬢さんが振袖姿で花束を贈りますね。あれには一寸おどろきました。日本では一にも二にも洋装ばかりでいるのに、アメリカで振袖でしょう。何だか頭をなぐられたように感じました。

吉田 私の場合ですと、朝はパンとコーヒー。それにハムか卵を添える程度ですが、お昼と夕食には米をたきますし、自然と日本料理に傾きますよ。

吉田 あれは特別ですね。しかし、何かの折には日本趣味が出てくるんです。二世の娘さんの中にも踊りの名取がいて、お師匠をしたり、ピクニックには日本舞踊を踊ったりします。盆踊りに興じたり、おはぎや、ぼた餅も作ったりします。

吉田 それもありません。それから、子供を置いて親だけが帰るわけにもゆかぬ、こういう点もあるのです。

吉田 それで生活はどうなんですか。

吉田 ロサンゼルス为例にとりますと、同胞だけで日本人街をつ

吉田 私の生活はというと、朝はパンとコーヒー。それにハムか卵を添える程度ですが、お昼と夕食には米をたきますし、自然と日本料理に傾きますよ。

吉田 私もうどのあの時は七年ぶりに復活した二世週間と一緒になりましたので、とても賑わったんです。

吉田 ロサンゼルス为例にとりますと、同胞だけで日本人街をつ

客席の大部分が日本人でした。前売りキップを買うのが大変で、延長蛇の列なんです。それが大抵

まぼらま

教祖在世時に活躍した
奈良奉行・川路聖謨を主人公とした
幕末奈良のドキュメント小説

出久根達郎 書き下ろし

特設サイト間もなくオープン!

日本人で、中にはスポーツの文字も解せないような老人が、二世に手をひかれて並んでいる有様です。

私はとても勉強させてもらいました。

記者 ところで、今度の旅行は……。

記者 日本の新聞では物凄い見出しで書き立てました。一つには、終戦後、初めて世界的な舞台に立ったことに気をよくして、萎縮しがちな私どもの気持を湧き立たせようとしたのでしょうか……。

吉田 期間は六十日で、費用は千五百ドル乃至二千ドルです。(註、一ドルは日本金にして三百六十円であるから五十四万円乃至七十二万円ということになる) 汽船は特三等で、その費用が六百三十ドルです。滞在中の小遣は百ドルということになっています。

吉田 やはり日本は狭いですね。国土が狭いと同時に世間も狭いで、ちよつとしたことでもすぐに騒ぎの種になるのでしよう。それに、何でもないことに騒ぎ立つというのは教養の問題ですね。向こうの人たちはあまり見に来なかったから、古橋たちをほめないかという、そういうケチな気持はまったく持っていない。ほめるべきは気持よくほめる。聞くべき意見には虚心に耳を傾ける。こういう鷹揚さがあるのです。こういう点で

記者 みなさん方、とても大きなお荷物のようにですね。

吉田 あれは殆ど食糧です。一人について三百斤の主食携行なんです。私達が日本に来て、乏しい日本の食糧を食い減らさないためです。こういう次第ですから、決して生易しい旅ではありません。千五百ドルの旅費といえ、決して軽いことではありません。帰る人達は三十年ぶり、または六十年

吉田 小包について私から申すと、口はばつたいかも知れませんが、多くの同胞の気持を、この際ぜひお伝えしておきたいと思えます。

吉田 書店のエロ・グロ雑誌の氾濫には驚きました。もちろん、アメリカにもありますよ。しかし、あんなにいたるところに溢れていません。

吉田 小包について私から申すと、口はばつたいかも知れませんが、多くの同胞の気持を、この際ぜひお伝えしておきたいと思えます。

吉田 書店のエロ・グロ雑誌の氾濫には驚きました。もちろん、アメリカにもありますよ。しかし、あんなにいたるところに溢れていません。

吉田 書店のエロ・グロ雑誌の氾濫には驚きました。もちろん、アメリカにもありますよ。しかし、あんなにいたるところに溢れていません。

吉田 書店のエロ・グロ雑誌の氾濫には驚きました。もちろん、アメリカにもありますよ。しかし、あんなにいたるところに溢れていません。

吉田 書店のエロ・グロ雑誌の氾濫には驚きました。もちろん、アメリカにもありますよ。しかし、あんなにいたるところに溢れていません。

吉田 書店のエロ・グロ雑誌の氾濫には驚きました。もちろん、アメリカにもありますよ。しかし、あんなにいたるところに溢れていません。

吉田 書店のエロ・グロ雑誌の氾濫には驚きました。もちろん、アメリカにもありますよ。しかし、あんなにいたるところに溢れていません。

ぶりに、生涯の思い出として、長年かかって準備した金で来るのですから、どうか温かい真実をもって迎えてあげてください。

記者 実は、吉田さんが今度お帰りになったら、どんなにしてお迎えしようかと思つてたんです。

吉田 小包について私から申すと、口はばつたいかも知れませんが、多くの同胞の気持を、この際ぜひお伝えしておきたいと思えます。

吉田 小包について私から申すと、口はばつたいかも知れませんが、多くの同胞の気持を、この際ぜひお伝えしておきたいと思えます。

吉田 小包について私から申すと、口はばつたいかも知れませんが、多くの同胞の気持を、この際ぜひお伝えしておきたいと思えます。

吉田 小包について私から申すと、口はばつたいかも知れませんが、多くの同胞の気持を、この際ぜひお伝えしておきたいと思えます。

吉田 小包について私から申すと、口はばつたいかも知れませんが、多くの同胞の気持を、この際ぜひお伝えしておきたいと思えます。

吉田 小包について私から申すと、口はばつたいかも知れませんが、多くの同胞の気持を、この際ぜひお伝えしておきたいと思えます。

吉田 小包について私から申すと、口はばつたいかも知れませんが、多くの同胞の気持を、この際ぜひお伝えしておきたいと思えます。

分たちさえ持つていないものを言つてくる。これが不足の原因になっていきます。不自由の中から品物を送っている、その真実が少しも通じないのが残念なんです。

記者 日本の印象ですが、「目がするどい」とさつきおっしゃいましたが、それ以外に特に気づきのこととは?

吉田 書店のエロ・グロ雑誌の氾濫には驚きました。もちろん、アメリカにもありますよ。しかし、あんなにいたるところに溢れていません。

吉田 書店のエロ・グロ雑誌の氾濫には驚きました。もちろん、アメリカにもありますよ。しかし、あんなにいたるところに溢れていません。

吉田 書店のエロ・グロ雑誌の氾濫には驚きました。もちろん、アメリカにもありますよ。しかし、あんなにいたるところに溢れていません。

吉田 書店のエロ・グロ雑誌の氾濫には驚きました。もちろん、アメリカにもありますよ。しかし、あんなにいたるところに溢れていません。

吉田 書店のエロ・グロ雑誌の氾濫には驚きました。もちろん、アメリカにもありますよ。しかし、あんなにいたるところに溢れていません。

吉田 書店のエロ・グロ雑誌の氾濫には驚きました。もちろん、アメリカにもありますよ。しかし、あんなにいたるところに溢れていません。

吉田 書店のエロ・グロ雑誌の氾濫には驚きました。もちろん、アメリカにもありますよ。しかし、あんなにいたるところに溢れていません。

お道の家庭雑誌

定期購読 受付中

陽気

◎定期購読の誌代は1冊で半年分…1,600円(送料共) / 1年分…3,200円(送料共)
ゆうちょ銀行の青い振込用紙をご利用下さい。(口座番号 00990-3-17694 加入者 養徳社)
希望の号を指定の上、お客様の住所、氏名、電話番号をはっきりご記入お願いします。

問合せ先 ☎ 0120-920-398 養徳社 業務部窓口

反響続々

篠田欣吾 著 (龍分教会長)

こころのさんぽ道

定価 1,260円(税込) 送料 200円

※ご注文は前払いとなりますので定価に送料を加算して郵便振替にてご注文下さい。2冊以上のご注文は送料が異なりますので、業務部までお問い合わせ下さい。